

平成23年度「学校運営の改善の在り方に関する取組」

震災時における学校対応の在り方に関する調査研究

—東日本大震災と阪神淡路大震災で被災した学校から防災安全の対応と対策を学ぶ—

中間報告会（第2報）

主催：財団法人日本私学教育研究所
後援：日本私立中学高等学校連合会
〃：日本私立小学校連合会
〃：兵庫県私立中学高等学校連合会

東日本大震災で被災された多くの皆様と学校関係者に、お見舞い申し上げます。

さて、財団法人日本私学教育研究所は、文部科学省初等中等教育局の平成23年度「学校運営の改善の在り方に関する取組」公募の一つである『震災時における学校対応の在り方に関する調査研究』に応募し、採択されました。この8月から、北海道、東北地区、関東地区、中部地区の一部のアンケート調査・学校訪問調査、および阪神淡路大震災・中越地震等との比較調査などを実施しております。

今回の東日本大震災では、多くの私立学校が多大な被害を受けました。しかし、私立学校としてまとめた被災状況およびその対応策については、調査結果に基づく検討や考察などを含む報告書や資料集はあまり無いのが現状であります。私立学校の被災状況については、各都道府県の調査資料等の一部として集計され検討されておりますが、私立学校としての対応や対策を考えるにはまだまだ不足しております。そこで本調査研究は、今後の私立学校としての防災安全対策、特に地震災害・津波災害の対応や対策に関する調査研究を実施し、資料を提供することを目的としております。また、地域にある学校としての役割や公立学校との比較分析も行うことにしております。

現在、調査研究中ではありますが、今回の中間報告会の会場を兵庫県とし、被災した東北地区の学校関係者と被災した経験を持つ学校関係者によるパネルディスカッションを企画いたしました。このパネルディスカッションは、震災を経験した学校間の質疑応答により、当事者でなければ分からない事柄についても話題として議論される事が期待されます。また、本報告会は、公開で実施いたしますので、会場フロアからもご質問をいただき、衆智を結集してより幅広く震災時の対応と対策についての知見が多々得られ共有されることを期待しています。そして、「震災時の対応と対策について」を協議することにより、その問題点や解決策などをより具体的に明らかにし全国の学校に発信いたします。

地震国・日本、1000年に一度の東日本大地震により、地殻構造にゆがみが生じており、日本列島は何時、何処に大きな地震が起きてもおかしくないと言われております。今後の学校の地震防災対策を学ぶ良き機会として中間報告会に、ご参加くださいますようご案内をいたします。

開催日時： 平成23年12月3日（土）午前10時から午後5時

開催場所： 兵庫県私学会館 4階大ホール

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-3-13

※交通 JR元町駅東口から徒歩2分、阪神電鉄元町駅東口から徒歩3分
阪急電鉄三宮駅から徒歩7分、花隈駅から徒歩7分
神戸市市営地下鉄県庁前駅から徒歩3分

募集人員： 100名（締め切り前でも定員になり次第締め切らせていただきます。）

受講対象者： 私立学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校）および学校関係者（公立、教育機関）

参加費： 1,000円（資料および運営費） ※当日受付にてお支払いください。

配布資料： 『震災時における学校対応の在り方に関する調査研究』中間報告書

報告内容

1. 東日本大震災の被災校から報告（1時間30分）

- ① 久 力 誠 宮城県：東北工業大学高等学校 校長
- ② 鈴 木 康 之 茨城県：水戸女子高等学校 理事長・校長
- ③ 山 口 力 利 福島県：福島県私立中学高等学校協会 事務局長

2. 「震災時における学校対応の在り方に関する調査研究」中間報告（1時間）

山 路 進 財団法人日本私学教育研究所 主任研究員

3. パネルディスカッション

『東日本大震災と阪神淡路大震災から学ぶ、学校の対応と対策』（2時間30分）

- パネリスト
- ① 久 力 誠 宮城県：東北工業大学高等学校 校長
 - ② 鈴 木 康 之 茨城県：水戸女子高等学校 理事長・校長
 - ③ 山 口 力 利 福島県：福島県私立中学高等学校協会 事務局長
 - ④ 山 内 英 正 兵庫県：甲陽学院高等学校 教諭
 - ⑤ 熊 見 一 郎 兵庫県：神戸星城高等学校理事長・校長
 - ⑥ 柏 木 富士男 兵庫県：神戸村野工業高等学校 副校長

コーディネータ 山 崎 吉 朗 財団法人日本私学教育研究所 専任研究員

特別展示 「震災と記録 1.17から16年」

特別展示「震災と記録 1.17から16年」は、公益財団法人白鹿記念酒造博物館の常設展「震災の記録」として9月14日から11月21日に開催されております。今回、白鹿記念酒造博物館のご好意により、その展示の一部を本中間報告会の会場で特別展示いたします。

公益財団法人白鹿記念酒造博物館は、阪神淡路大震災から16年、震災の記録を風化させないために何ができるかをテーマに、10年前から「震災の記憶」の常設展を行ってきました。今回の特別展は、震災直後からの情報伝達のため掲示や配布されたチラシ類・新聞などで、改めて当時を振り返ることを目的としております。なお、展示資料に関しましては、個人でチラシ類を収集保存され、現在も震災を記録し続ける山内英正氏（甲陽学院高等学校教諭）のご協力をいただきました。

時 程

12月3日 (土曜日)	9:00	10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	16:30	17:00
		受付	開会式	1. 報告①②③	昼食	2. 中間報告	3. パネルディスカッション	閉会式

参加申し込み方法

参加申込書を、日本私学教育研究所へ郵送または、FAXでお送りください。

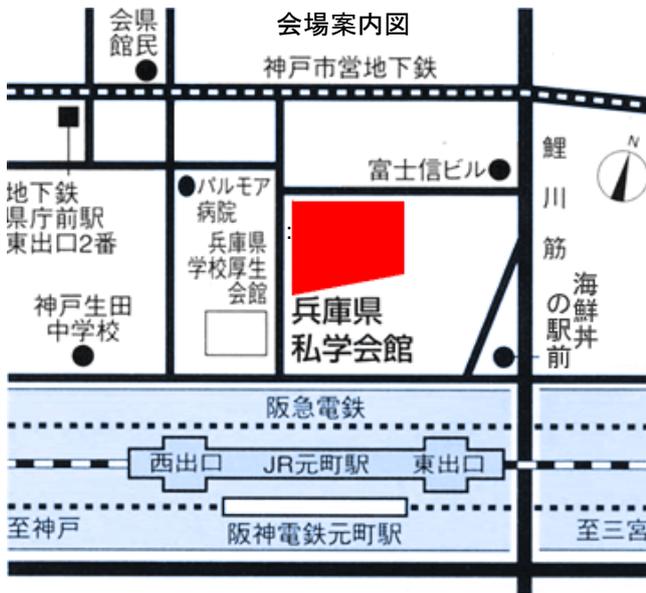
締め切り日 11月30日（水） ※締め切り前でも定員になり次第締め切らせていただきます。

【送り先・問い合わせ先】 財団法人日本私学教育研究所 研究係

横山嗣巳 E-mail yokoyama@shigaku.or.jp

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6F

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683



兵庫県私学会館

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目3-13

TEL 078-331-6623 FAX 078-321-5968

※ 交通

- ・JR 元町駅東口から徒歩 2 分、
- ・阪神電鉄元町駅東口から徒歩 3 分
- ・阪急電鉄三宮駅から徒歩 7 分、
花隈駅から徒歩 7 分
- ・神戸市市営地下鉄県庁前駅から徒歩 3 分

財団法人 日本私学教育研究所

送付先 FAX 番号 03-3222-1683

震災時における学校対応の在り方に関する調査研究

—東日本大震災と阪神淡路大震災で被災した学校から防災安全の対応と対策を学ぶ—

中間報告会 参加申込書

都道府県名	学校名 (組織名)		
学校所在地 〒	電話 () FAX ()		
ふりがな 参加者氏名	緊急連絡先(自宅・携帯電話番号等、連絡が取れる所)		
メールアドレス			
職 名	担当教科等		
備 考			
ふりがな 参加者氏名	緊急連絡先(自宅・携帯電話番号等、連絡が取れる所)		
メールアドレス			
職 名	担当教科等		
備 考			